

4-1 『ちいさいおうち』★

バージニア・リー・バートン 作/絵
石井 桃子 訳
岩波書店

1954年



しっかり丈夫に建てられた「ちいさいおうち」。丘の上からまわりの景色をながめて幸せに暮らしていましたが周りが時代の流れとともに変わっていきます。このままどうなってしまうのでしょうか？

(中野 仁美)

5-3 『わたしのとくべつな場所』★



パトリシア・マキサク 作
ジェリー・ピンクニー 絵
新日本出版社

藤原 宏之 訳
2010年

1950年代のアメリカ。様々な人種差別がありました。ナッシュビル図書館は「全ての人を迎える」と掲げていました。パトリシアは初めて一人で図書館を目指します。

(川畑 けい子)

4-2 『落語絵本 まんじゅうこわい』★

川端 誠 作/絵



クレヨンハウス 1996年
町内のなかまの集まりで、それぞれ自分の嫌いなきものを言いあうなかで、まっつあんだけがまんじゅうがこわいと言い出す・・・さてそのわけは？

(橋口 智美)

6-1 『らくごえほん 千両みかん』



野村 たかあき 作/絵
柳家 小三治 監修
株式会社教育画劇

2020年

たった一粒のみかんに大変な値段がついてしまうお話です。長年こつこつ働いてきた番頭さんが真夏の江戸をかけ回りみかんを探す物語です。

(森田 真紀)

4-3 『ふうせんばたけのみみつ』

ジャーティン・ノーレン 作
マーク・ビーナー 絵
徳間書店

山内 智恵子 訳
1998年



地面からふうせんを育てるおじさん。色も形も様々でそれはステキな風せんです。育て方は誰も知らない。でも私だけは知っている秘密。

(渡邊 明子)

他『ふしぎなナイフ』★福音館書店

6-2 『プーアの森』



せがわ きり 作
忌野 清志郎 絵
TOKYO FM出版

2002年

木のほりがすきなしょうくんは、いつもの森にあそびにきました。ピンクに光っている木におそろおそろ近づくと、うろの中に箱があります。中には何が・・・

(佐藤 法子)

5-1 『ウェン王子とトラ』

チェン・ジャンホン 作/絵
平岡 敦 訳
徳間書店

2007年



子供を殺された母トラと、その怒りを鎮めるために送りだされた幼い王子。母トラは自分の子供の様に王子を育てますが、やがて子供を取り返そうと王の軍勢が・・・中国の伝説をもとに書かれたお話。

(上野 邦晴)

6-3 『ねえ、どれがいい？』



ジョン・バーニンガム 作/絵
まつかわ まゆみ 訳
評論社

1983年

この絵本は、答えがない絵本です。いろんな問いかけを、自分ならどれかな？と考えながら読みすすめていく楽しい絵本です。

(三澤 文美佳)

5-2 『おばけのひっこし』

さがら あつこ 作
沼野 正子 絵
福音館書店

1989年



大きな家が欲しいおとどと家を追い出されかねないおばけ達の攻防。おばけ達は一生懸命おどかして帰ってもらおうとしますがおとどとはちっとも怖がりません。

(藤田 佳子)

次回の読み聞かせは10月21日(水)8:25~8:40です。お楽しみに！
なお、保護者のみなさんも見学ができます。
ぱたぼん通信が本選びの参考になればうれしいです♪

～ぱたぼん卒業メンバーからのメッセージ～

毎年3月のぱたぼん通信に、卒業するメンバーのメッセージを載せていますが、昨年度は新型コロナウイルスの影響により読み聞かせが中止となり、発行できませんでした。大変遅くなりましたが、こちらに掲載させていただきます。お二人とも長い間、本当にありがとうございました！



三村 祐子さん

『ぱたぼん』では、係の皆さんに支えてもらいながら、上の子のときから今年3月に下の子が卒業するまでの九年間お世話になりました。毎回、児童のみなさんのキラキラした瞳にワクワクしていました。ありがとうございます。お元気でね。



河東 友子さん

娘が1年生のころから、卒業までぱたぼんメンバーとして活動させていただきました。皆さんの笑顔や真剣な眼差しに触れることのできる読み聞かせ活動は、私にとって大切な宝物でした。皆さんの事を思って選書する時間もまた豊かなものでした。娘は卒業を迎えましたが、私はボランティアメンバーとして本年度も引き続き活動に参加する予定です。どうぞよろしくお願い致します。